

2/11(水祝) 10:00～11:30

ご予約は
こちらから



平安神宮と本願寺伝道院

～若き伊東忠太の挑戦～

定員 先着40名 参加費 3,000円

平安神宮は、1895年の平安遷都千百年記念祭と第4回国勲業博覧会に合わせて創建されました。本殿前には、平安京の象徴であった朝堂院正殿の大極殿や応天門がモニュメントとして復元されています。この壮大な復元を手掛けたのが、当時まだ若き建築家・伊東忠太です。講座では、平安神宮の建築を解説しながら、伊東忠太の設計思想に迫ります。さらに、その17年後に完成した伝道院と一緒に巡りながら、近代建築の原点を体感します。



講師

くら かた しん すけ 大阪公立大学教授
倉方 俊輔 建築史家

伊東忠太の研究で博士号を取得し、『京都 近現代建築ものがたり』『神戸・大阪・京都レトロ建築さんぽ』ほか著書多数。建築公開イベント「東京建築祭」の実行委員長、「京都モダン建築祭」「イケフェス大阪」の実行委員を務めるなど、建築の価値を広める活動を行っている。



2/28(土) 10:00～12:00

ご予約は
こちらから



伝統の絵具で彩色体験！

～絵師から学ぶ 国宝・唐門の唐獅子を描こう～

定員 先着20名 参加費 5,500円(材料費2,500円を含む)

西本願寺の境内でひととき鮮やかに輝く国宝・唐門。唐破風の優美な曲線と、故事や聖獣を題材にした精緻な彫刻が織りなす姿は、桃山建築の豪壮華麗さを今に伝えています。近年の修復により、彫刻には桃山時代の極彩色が甦りました。今回は、唐門の彫刻の中でも目線の高さにあり、親しみやすい唐獅子を下絵に、伝統の絵具を使った彩色体験を行います。講座のあと、唐門を訪れば、いつもの景色がきっと違って見えるはずです。



彩色イメージ

※絵の具を使いますので、汚れてもよい服装でお越しください。

講師

ひろ と かず ゆき
廣戸 一幸 絵師

幼少期からの海外滞在をとおし、日本の文化に傾倒。広告制作会社に従事した後ネパール、京都の絵師に師事。各地の社寺仏閣の荘厳彩色の復元・修復をはじめ、それらを踏襲した現代における古典絵画の制作を展開しています。



2/28(土) 13:30～15:00

ご予約は
こちらから



「からだの自然」に気づき、 立て直す～季節と文化 日本の身体感覚～

定員 先着20名

参加費 3,000円

「肩の力を抜き」、「懐を深く」し、「腰を決める」。

日本語の中の「身言葉」を、私達は共通の感覚として実際に体験し、自分の身体も立て直すことができます。おのずと生まれる息の深さ。現代文明の中で、とかく枯渇しがちな気の流れを、日常生活の中でできる動作で取り戻していきます。時代と環境の変化にもめげず、「からだの自然」に気づき、活かしてゆく。講義を交えながらの講座です。

※持ち物:動きやすい服装、手ぬぐい(使用する場合があります)

※更衣室をご利用の場合は、男女入替制となります。

講師

まつ だ え み こ
松田 恵美子

東洋の身体観をベースに、日常生活に自分で活かせる技法を紹介。自分で自分の身体を活性化、はぐくむ姿勢を伝える。身体感覚教育研究者。武蔵野美術大学身体運動文化研究室講師。大学院大学至善館特任教授。著書に「身体感覚を磨く12ヶ月」ちくま文庫など。



3/14(土) 13:30～15:00

ご予約は
こちらから



本願寺の茶道を知る

～藪内家で抹茶を味わい、重要文化財茶室を観る～

定員 先着20名 参加費 4,000円
(茶菓料1,000円を含む)

茶道藪内家は、寛永17年に本願寺第13代宗主良如上人の招きで現在地に茶室・露地を移しました。本願寺との縁は現在まで380年以上も続いています。

◆講座内容

10:00～10:30 伝道院にて藪内流についての講義
10:30～10:35 藪内家へ移動
10:35～11:30 茶室にて藪内流のお抹茶を味わい、名勝庭園を見学



講師

こ ぎ さ どう やぶのうち け
古儀 茶道藪内家

流祖を藪内剣仲といい、千利休と同時代の人。武野紹鴎のもとで利休と同門となり、紹鴎没後は利休と茶の研鑽に励んだ。

高名な茶人である古田織部は義兄で、織部の影響も色濃く残っている。寛永17年(1640)に良如上人の招きで本願寺の茶道師家となり、以後は本願寺との関係を深め、現在まで続いている。当代家元は14代允猶斎竹卿紹智。京都では三千家(表千家・裏千家・武者小路千家)と並び歴史ある茶家として知られている。講師は、茶道藪内家の執事が担当します。

